

日本での交換留学

ストラスブール大学

ポトレル・シリエル

k 2690020

私は3年間日本語を勉強した後、4月に日本に来ました。最初は、日本語でうまく生活できるか少し不安でした。もともと母国語でも人と話すことがあまり得意ではないので、外国語である日本語でコミュニケーションを取ることに緊張していました。また、一人で生活し、家族から遠く離れて暮らすことも初めてだったため、自立して日常生活のさまざまなことに対応する必要がありました。しかし、時間が経つにつれて新しい生活にも慣れ、一人で生活することの良さも感じられるようになりました。大学は、安心して過ごせる環境や授業を通して、自信を持つために大きな助けになりました。授業はとても興味深く、自分のレベルに合った授業を選ぶことができました。日本語の読み書きだけでなく、会話力も伸ばすことができ、クラスメートとの交流を通して、以前より自然に日本語を話せるようになりました。間違いを恐れず、実際に話してみることが大切だと学びました。

また、勉強だけでなく、日本にいる貴重な機会を生かして、さまざまな場所を訪れ、日本の文化を知ることも大切だと思います。東京以外にはあまり旅行できませんでしたが、素晴らしい景色を見たり、今までテレビや写真でしか見たことがなかった場所を実際に訪れたりすることができました。一人で出かけることもありましたが、自分のペースで楽しむことができました。友達を作り、周りの人と交流することは大切ですが、一人の時間を楽しむことも大切だと学びました。

私にとって、日本での留学生活で特に大切だったのは日本の音楽です。私は日本の音楽が大好きで、それも日本に来たいと思った理由の一つです。数年前に歌い手の **Ado** さんの音楽を聴き始めそれ以来、**Ado** さんは私の人生の中でとても大きな存在になりました。**Ado** さんの音楽をきっかけに日本語を勉強したいと思うようになり、将来、日本の音楽をより多くの人に広めることに関わりたいという目標を持つようにもなりました。7月には、横浜で開催された **Ado** さんのライブに参加することもできました。**Ado** さんは私にとってとても大きなインスピレーションを与えてくれるアーティストです。そのため、たった4ヶ月間ではありましたが、**Ado** さんの音楽が生まれた日本で生活することができたことを、とても嬉しく思います。日本で **Ado** さんのライブに参加できたことは、私にとって忘れられない思い出になりました。また、ライブでは、日本人のファンの方々と、3年間の日本語の勉強と留学生活を通して身につけた日本語を使って話すこともできました。同じ音楽が好きという共通の趣味を通して、他のファンの方々と交流できたことは、とても貴重で楽しい経験でした。それによって、自分がこれまで勉強してきた日本語が実際のコ

コミュニケーションの中で役に立つことを実感し、自分の日本語の上達を具体的に感じることもできました。

最後に、いつも支えてくださった先生方、頼りになるチューター、そして安心して勉強し生活できる環境を作ってくくださったお茶の水女子大学と音羽館の皆様
に心から感謝しています。

